

東日本大震災特集号

No 2 9

がんばろう福島

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

自治労福島県本部

024-523-4324

fax024-526-2109

自治労共済福島県支部

024-521-0336

fax024-521-1728

縁の下の力持ち 自治労復興支援活動を支えた ホテル福島グリーンパレス

3・11 東日本大震災発生から、まもなく4ヶ月が経とうとしています。この間、福島市・福島グリーンパレス(福島県市町村共済会館)から様々なご支援・ご協力をいただけてきました。今回は、福島グリーンパレスの支援内容や取り組み等をご紹介します。

ベースキャンプとして

3ヶ月に渡り、自治労復興支援活動参加者の活動拠点となるベースキャンプを設置させていただきました。また、本部事務局の作業場として、事務室をお借りしました。



物資のストックヤードとして

震災発生当初、県本部は全国の仲間から届いた支援物資と県本部が独自に集めた物資を被災単組へ物資を搬送していました。大量の物資のストックヤードとしてグリーンパレスの会議室を使用させていただきました。



早朝からの支援にも対応

相馬市・新地町で支援活動を行う参加者の出発時間は早朝6時半。朝食をバスの車内で食べるため、お弁当の準備をしていただきました。



避難所での支援も実施

避難者にあたたかい食べ物を届けようと、浪江町の避難所「あだたら体育館」で5・6月に9回の炊き出しを行いました。



萩原総支配人に突撃インタビュー!

自治労復興支援活動の受け入れについては、「ぜひお手伝いしたい」「出来る範囲で何でも後方支援していこう」という気持ちでいっぱいでした。また、自治労復興支援活動を支えることで福島県全体を支援することに繋がるのではと考えていました。



第1グループのバスが到着したときは、「こんなに大勢の方が来てくれた!」と従業員一同、自然に涙が出ていました。福島県の復興のはじまりだと感じました。

7月10日で自治労の支援活動は終了しますが、今後も避難者の受け入れを続けて行きます。(※震災当初から南相馬市等の避難者を受け入れている。)

さらに、きちんとモニタリングを受けた福島県産の野菜を積極的に取り入れたお料理の提供も続けて行きます。



福島グリーンパレスの皆さん
大変お世話になりました!!

福島グリーンパレスの3・11

地震発生後、新幹線・JR在来線・私鉄は運休し、福島駅には人が溢れました。駅前にあるグリーンパレスでは帰宅難民を受け入れ、食事の提供をしました。また、1・2階のロビーで就寝する方も大勢いました。